

F☆☆☆☆
ホルムアルデヒド放散等級



アクア フロンティアHG-II

超低汚染 水性有機無機ハイブリッド塗料

「美」 & 「剛」
Beauty Rigidity





水性レベルを超えた「美」・「剛」。 「セラミック技術」と「4フッ化ふっ素」の融合。

Beauty

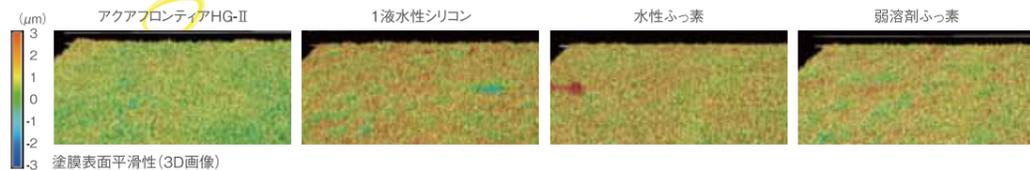
「美」の理由

独自の塗膜レベルコントロール技術により、実現した溶剤塗膜並みの平滑性。
この平滑性が「美」の源です。

アクアフロンティアHG-II 1液水性シリコン 水性ふっ素 弱溶剤ふっ素



鮮映性比較(塗膜への蛍光灯の映り込み)
平滑な塗膜でないと、光が乱反射し、光沢感のある塗膜は完成しません。
美しさの第一条件です。

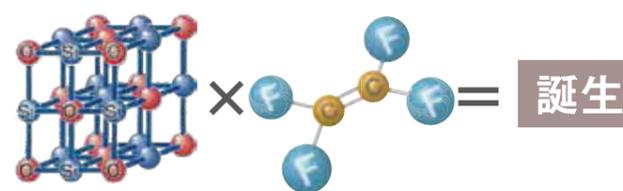


3D画像からアクアフロンティアHG-IIの平滑性(凹凸の少なさ)がわかります。
この平滑性が光の乱反射を防ぎ、蛍光灯がしっかりと映り込む塗膜へと繋がります。
この平滑性と緻密な塗膜形成が美しい塗膜を可能にしています。

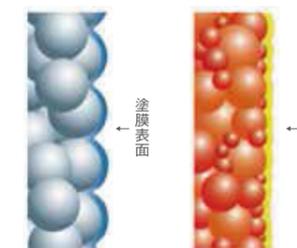
Rigidity

「剛」の理由

セラミック技術と最高級の4フッ化ふっ素の融合で、緻密かつ強固な塗膜が誕生。太陽光・風雨といった
厳しい自然環境に対抗できる「剛」でありながら、しなやかな塗膜形成を実現しました。



一般的な塗膜 アクアフロンティアHG-IIの緻密な塗膜

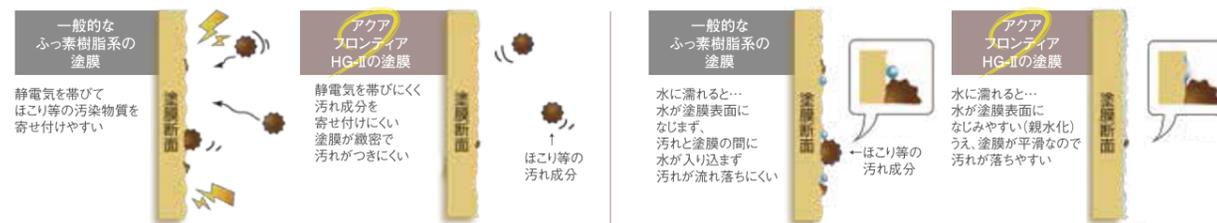


更に「ディフェン斯拉ジカル技術」×「環境遮断性」を併せ持つことで
水性レベルを超えた耐候性・耐久性を実現。

この「美」を保つためには、汚れにくさが重要です。
表面コントロールで実現した「塗膜の緻密さ」+「低帯電性」で汚れが付きにくく、
また「親水化技術」+「平滑性」で汚れを流し落しやすくすることで、
「美」を保ちます。



雨だれ汚染試験



高光沢・低汚染・高耐候・高耐久 》 あふれる艶感・美しさの維持。そして建物を長期に守ります。

特長

高耐候・
高耐久

超低汚染

高光沢

難燃性

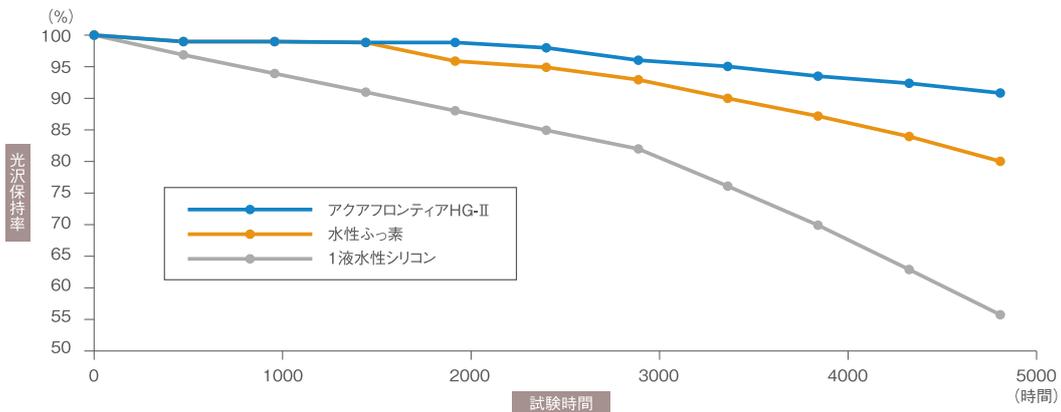
防藻・
防カビ性

セラミックの強固さと4フッ化ふっ素の耐候性で建物を長期間保護。

「塗膜の緻密さ」+「低帯電性」+「親水化技術」+「平滑性」で超低汚染性を実現。長期間美観を維持します。

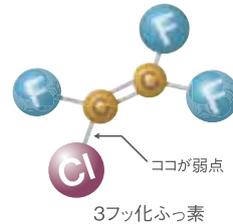
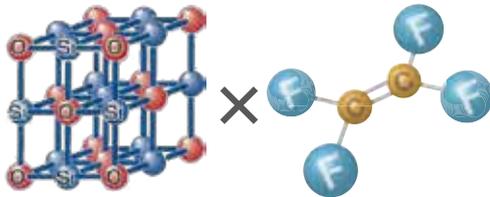
塗膜レベルコントロール技術及び塗膜の緻密さで実現した水性でありながら光沢感・鮮映性に優れる塗膜。

促進耐候性 (キセノン)

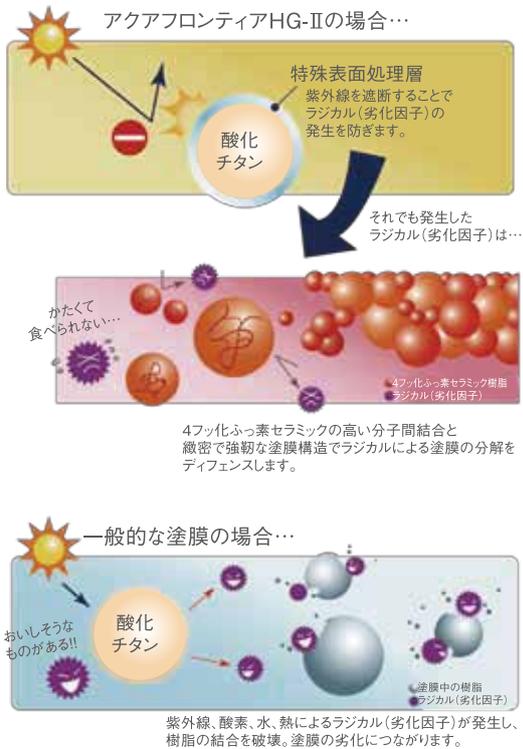


セラミックと最高級の4フッ化ふっ素の技術の融合で生まれた高い分子間結合と緻密で強固な塗膜構造及びディフェンストラジカル技術により、紫外線による塗膜の劣化から守ります。

4フッ化ふっ素:一般的なふっ素樹脂(3フッ化ふっ素)と比べ、優れた耐久性を発揮します。これはC-F結合がC-Cl結合に比べ、結合エネルギーが大きく紫外線に強い構造のためです。

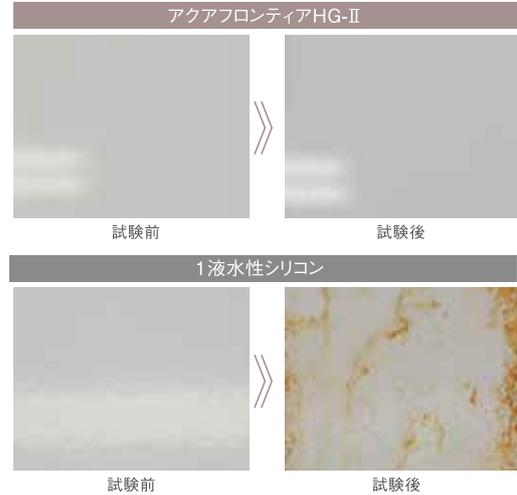


ディフェンスラジカル技術



環境遮断性(バリア性)

試験板：銅板に単膜塗装(膜厚30μm)
塩水噴霧試験(SST)：試験時間24時間にて実施

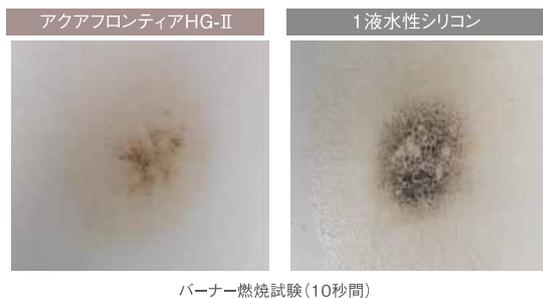


アクアフロンティアHG-IIは点錆の発生が見られない。

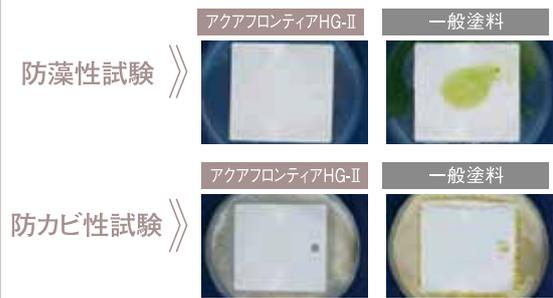
4フッ化ふっ素セラミックの緻密かつ強固な鎖が幾重にも繋がってできた塗膜構造が、高い環境遮断性(バリア性)を生み出します。

海浜地区特有の環境下でのバリア性に優れ、またコンクリートの中酸化防止やサイディングボードの基材の保護にも大きな効果を発揮します。

難燃性



防藻・防カビ性



用途

●集合住宅、戸建て住宅、公共施設、病院、工場、倉庫、事務所等の外壁

適用下塗

●シントーダンエポ、リフレース、ライトリフレ等の各種建築外装用主材
●リフレッシュプライマーII、浸透性マイルドエポシーラー、HOMEプライマー等の各種建築用下塗

■標準塗装仕様

・吹付タイル面 塗替え仕様(旧デザイン復元仕上げ)

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率(%)	使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
下地調整	高圧洗浄で被塗物表面の劣化塗膜や汚染物を除去し十分に乾燥させる。 旧塗膜剥離面は主材により修復する。					
主材塗り	シントーダンエポ (水道水)	5~8	0.3~0.8	1	16時間~7日	中毛ローラー
中塗り	アクアフロンティア中塗 (水道水)	5~10	0.12~0.15	1	3時間~7日	は け 中毛ローラー
上塗り	アクアフロンティアHG-II (水道水)	5~10	0.12~0.15	1	—	は け 中毛ローラー

※下地の表面状態によって、使用量は変動することがあります。
 ※工程管理を行う場合、中塗りは上塗材の近似色にて塗装してください。
 ※旧塗膜が弾性タイプの塗替時には弊社までご相談ください。

■標準塗装仕様

・窯業系サイディングボード面 水性塗替え仕様

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率(%)	使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
下地調整	ボードのクラック等は適切な処置を行う。 既存塗膜の脆弱部分を完全に除去し、高圧水洗にてほこり、汚れ、チョーキング層の除去を行い、乾燥させる。					
下塗り	リフレッシュプライマーII (水道水)	3~10	0.10~0.15	1	16時間~7日	は け 中毛ローラー
中塗り	アクアフロンティア中塗 (水道水)	5~10	0.12~0.15	1	3時間~7日	は け 中毛ローラー
上塗り	アクアフロンティアHG-II (水道水)	5~10	0.12~0.15	1	—	は け 中毛ローラー

※下地の表面状態によって、使用量は変動することがあります。
 ※工程管理を行う場合、中塗りは上塗材の近似色にて塗装してください。
 ※既存サイディングボードの劣化が著しい場合は、塗装を避けてください。
 ※本塗装仕様では難付着サイディングボードへの適性がありません。
 ※旧塗膜が弾性タイプの塗替時には弊社までご相談ください。

■標準塗装仕様

・窯業系サイディングボード面 塗替え仕様

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率(%)	使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
下地調整	ボードのクラック等は適切な処置を行う。 既存塗膜の脆弱部分を完全に除去し、高圧水洗にてほこり、汚れ、チョーキング層の除去を行い、乾燥させる。					
下塗り	HOMEプライマー (塗料用シンナーA)	3~15	0.13~0.17	1	16時間~7日	は け 中毛ローラー
中塗り	アクアフロンティア中塗 (水道水)	5~10	0.12~0.15	1	3時間~7日	は け 中毛ローラー
上塗り	アクアフロンティアHG-II (水道水)	5~10	0.12~0.15	1	—	は け 中毛ローラー

※下地の表面状態によって、使用量は変動することがあります。
 ※工程管理を行う場合、中塗りは上塗材の近似色にて塗装してください。
 ※既存サイディングボードの劣化が著しい場合は、塗装を避けてください。
 ※本塗装仕様では難付着サイディングボードへの適性がありません。
 ※旧塗膜が弾性タイプの塗替時には弊社までご相談ください。

データガイド

品名		アクアフロンティア中塗				アクアフロンティアHG-II				
概要	塗料のタイプ	アクアフロンティアHG-II用中塗り				水性有機無機ハイブリッド塗料				
	色相	各色				各色(艶あり・5分艶・3分艶)				
	容量	15kg				セット	主剤	硬化剤		
		4kg				16kg	15.2kg	0.8kg		
	混合比(主剤:硬化剤)		—				95:5(重量比)			
設計値	光沢(60度)	82				85(艶あり)				
	密度	1.2g/mL				1.2g/mL				
	加熱残分(Wt%)	52				50				
	WET/DRY比	0%=1.9	10%=2.2	20%=2.4		0%=2.1	5%=2.3	10%=2.4		
塗装案内	適正塗装方法		スプレー・はけ・ローラー				スプレー・はけ・ローラー			
	標準仕様	スプレー仕様	25 μ m-140g/m ²				30 μ m-200g/m ²			
		はけ・ローラー仕様	25 μ m-120g/m ²				30 μ m-140g/m ²			
	塗装環境条件		温度 5~35℃ 湿度85%以下				温度 5~35℃ 湿度85%以下			
	希釈剤		水道水				水道水			
			5℃	10℃	20℃	30℃	5℃	10℃	20℃	30℃
	使用可能時間		—	—	—	—	8時間	8時間	5時間	5時間
	乾燥時間	指触	1時間	1時間	0.5時間	0.5時間	1時間	1時間	0.5時間	0.5時間
		完全硬化	10日	7日	5日	5日	14日	10日	7日	7日
	塗装間隔	Min ※)	5時間	4時間	3時間	3時間	3日	2日	1日	1日
Max(異種)		7日	7日	7日	7日	—	—	—	—	
注：塗重ね間隔において、別途、基準が定められている場合は基準を遵守してください。										
適正希釈率	スプレー	15~25%	15~25%	10~20%	10~20%	5~20%	5~20%	5~15%	5~15%	
	はけ・ローラー	10~15%	10~15%	5~10%	5~10%	5~15%	5~15%	5~10%	5~10%	
熟成時間		—				—		—		
安全衛生							主剤		硬化剤	
	有機則区分		—				—		2種	
	危険物分類		非危険物				非危険物		4類3石Ⅲ	
	ホルムアルデヒド放散等級		F☆☆☆☆				F☆☆☆☆			

※) アクアフロンティア中塗は異種、アクアフロンティアHG-IIについては同種の塗装間隔になります。

注:上記データは標準値を示していますので、予告なしに変更することがあります。

商品構成

商品名	容量			混合比	色相	艶調整	備考
	セット	主剤	硬化剤				
アクアフロンティアHG-II	16kg	15.2kg	0.8kg	95 : 5	各色	艶あり 5分艶 3分艶	2液水系
	4kg	3.8kg	0.2kg				
アクアフロンティア中塗	15kg	—	—	—	各色	艶あり	1液水系
	4kg	—	—	—			

注意事項

●施工上の注意事項

- 塗装場所の気温5℃以下、湿度85%以上および換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- 外部での塗装において、強風時や降雨、降雪の恐れがある場合は塗装を避けてください。
- 被塗面温度が50℃を超える場合は、塗装を避けてください。
- コンクリート、モルタル面への塗装で含水率10%以上(デジタル式水分計の場合は5%以上)、pH10以上の場合、塗装を避けてください。
- 上塗の艶にかかわらず、中塗は必ず専用中塗を使用してください。
- 上塗は1回仕上げですので、中塗は共色で塗装してください。
- 2液混合形ですので、電動攪拌機にて主剤を先に攪拌し、硬化剤を混合後、再度均一に攪拌してください。
- 小出しする場合は必ずはかりを用い、正しい混合比で計量混合してください。
- 主剤と硬化剤の混合は、混合比を守って実施してください。
- 主剤と硬化剤を混合後、使用可能時間を過ぎたものは使用しないでください。
- 硬化剤は湿気の影響を受けやすいため、保管時の水分等の混入には十分注意するとともに開缶後は全量使い切るようにしてください。
- 希釈割合は、塗装方法、施工方法、施工条件によって異なります。事前にためし塗りをして、塗装条件を確認してください。
- 使用した塗装器具類は直ちに水洗いしてください。
- 施工にあたっては十分換気を行い、火気厳禁としてください。

●取り扱いおよび貯蔵上の注意事項

- 火気のない局所排気を設けた場所で使用してください。
- 塗装中、乾燥中とも換気を十分行い、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、皮膚に触れない様に、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、帽子、ヘルメット、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 確実にフタをし、40℃以下の場所で保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 捨てるときは、産業廃棄物として処理してください。
- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 容器は垂直に持ち上げてください。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時および応急処置

- 火災のときは炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用いてください。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮膚に変化等がある場合には、医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれたときには、布で拭き取り、その布を水の入った容器に保管してください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。



くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

神東塗料

本社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199

東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813

東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553

静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315

名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318

大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268

中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576

九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。